

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 7th Sense 保護者等数(児童数) 33 回収数 23 割合 69.6 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2	0	0		部屋の大小を活かした療育支援を今後していきたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1	0	1	・職員の専門分野が分かるとより質問しやすくなると思う。 ・よくわからない。	職員紹介カードを掲示したり、ネームカードにシールを貼付するなどわかりやすく示していきたいと思います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	2	0	0	・問題ないと思う。	ありがとうございます。今後も配慮してまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22	1	0	0	・子どもの状況が変化していく度に、色々考え支援を見直してくれる。	ありがとうございます。お子さんの状態状況の把握に努め、支援計画の変更あるいは付記していきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	20	1	2	0		今後もていねいに面談(モニタリング)等を行い、プログラムの固定化を防いでいきます。また、繰り返す必要がある場合、その意味合いをしっかりと説明していく所存です。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	10	13	0	・個別支援をお願いしている ・特にそれは求めている ・機会がない	イベント活動等は現在特に計画はないが、要望等により考えていきます。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	1	0	0		今後もていねいな説明を心がけていきます。また利用者さんに分かりやすい提示の仕方を工夫していきたいと考えています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	0	0	0	・こちらの状況を伝えやすい環境である。	・ていねいに面談(モニタリング)等を行い、プログラムの固定化を防ぎたい。また、繰り返す必要がある場合、その意味合いをしっかりと説明していきたい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	0	0	0	・その時々に対応して支援をしてもらっている。 ・いつも相談にのってもらい、元気をもらっている。	今後は今まで以上にコンスタントに面談をもっていきたいと考えています。また送迎時にも情報交換をしていく所存です。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	8	8	0	・保護者セミナーの案内は掲示されている。 ・機会がない	来年度は保護者会および保護者セミナー等を開催したいと考えています。 どなたにでもわかるように、掲示だけでなく会報誌を発行し広報活動を充実していく予定です。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	2	0	0	特に問題ないと思う。	苦情対応の体系はつくっているのですが、保護者から苦情があった場合は速やかに対応していく所存です。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	0	0	・子どものまでは配慮してくれたり、レッスン中や連絡帳で伝達できるので助かっている。	現在、連絡帳、面談時、モニタリング時、送迎時に保護者との意思疎通をしているので、今後もこの体制で行こうと考えています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	8	3	0		・ホームページにてブログ発信をしているが、今後の予定として、出席ブックや会報誌の発行を考えています。
	14	個人情報に十分注意しているか	21	2	0	0		個人ファイル等は鍵付き棚に保管しています。また引き出しの氏名記載は模様紙上に記載し、分かりにくくしています。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	8	3	0	契約時にざっくり説明があった。	それぞれマニュアルを作成していますが、内容の一部見直しを考えており、作成後は保護者の皆さんに配布していく予定です。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	12	5	0		訓練は1年に1回しています。消防の点検は1年に6回行っています。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	2	0	0	・気分むらのある子であるが、定期的に通えるようになった。 ・いつも楽しみにしている。	ありがとうございます。今後も楽しく通ってもらえるよう努力してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	2	0	0	・自分では全然気づかない子どものよいところを見つけてくれてありがたい。	ありがとうございます。専門的な視点もとりいれ、たくさんフィードバックをしていきたいと考えています。今後も真摯に、ていねいに支援を行ってまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月 1日

事業所名 7th Sense

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の大きさに大小あり、子どもの様子にて使い分けができる	課題:部屋の使用が固定されがちになる個別レッスンのため、広すぎることはあっても狭すぎることはないと思いますが、子どもの様子に合わせて部屋の選択配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		各先生の得意なことを活かされている	現段階では適切であると思うが、より効果的な支援を行うためにも、人数のみならず、個性や専門性、得意なことなどに加え、間の取り方なども踏まえ、今後も配置について考えていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		段差が全くない状態になっている	今後も配慮していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		週1回の会議(カンファレンス)での見直し	週に1回の会議(カンファレンス)にて、スタッフ全員で見直しをして共有しています。今後はさらにスタッフ1人ひとりの意見がのべやすいような環境づくりに力を入れていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回の実施にいただいた意見を参考に改善していく予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	△		昨年度はリンク先(リタリコ)にて公表	事業所内に掲示をしています。また今年度に関しては会報にも掲載配布していく予定である HPについては現在準備中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今のところは準備していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修費の補助 研修受講後の情報共有	内部研修を定期的実施し、外部機関研修についても広報や費用の負担も実施しています。 研修で学んだことについては、スタッフ同士情報共有をしています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		wiscおよび新版k式の検査を取ることができる人間がいるので、その利点を活かし、アセスメントの分析を行っています。	保護者の皆さんから検査結果や学校における支援計画等の資料を頂戴したり、送迎時に保護者の皆さんから日常の様子等も伺い、それらを分析し、支援計画を作成しています。 今後は分析力をあげ、より適切な支援計画の作成に努めてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	△			現在しようしているアセスメントツールはありますが、標準化されていません。しかしながら、データを積み上げ信頼性と妥当性を高めていく所存です。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			週1回の会議(カンファレンス)や、空き時間を利用し、主となる指導員を中心にスタッフで話し、プログラムを作成しています。 今後はさらに効果的なプログラムを作成できるよう、時間等の使い方を考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは骨格が崩れなければ、各指導員の先生方の持ち味も入れ、固定化しないよう工夫しています。 また個別レッスンなので、子どもの様子を見ながら随時変更をするなどの工夫もしています。	今後はさらに系統だったプログラムができるよう、研修等に力を入れていきます。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	△		個別レッスン(個別支援)なので、お子さんの体調や気持ちの状態等に合わせ、臨機応変に対応しています。	個別レッスンですので、大きな流れ、枠組みの中で行っていますので、原則平日、休暇等で変更はしていません。ですが、1人ひとり個別に対応していますので、常時きめ細やかに対応しているつもりですし、今後も注意深く見守りとレッスンをしていく所存です。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している		○		現段階では、個別対応のみです。今後イベント的にグループレッスンをする予定があります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		準備段階で、子どもさんについての情報交換をしています。特に気をつけることがある時は、綿密に打ち合わせをしています。	今後も引き続き実施していきます。その際の記録方法を一元化していこうと考えています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスン終了後、報告書の提出時に、レッスン時の様子、気になることなどの共有は必ずしています。	現在はレッスン後にかんしては、短時間での振り返りや情報共有となっていますが、今後はもう少し時間をかけていきたいと考えています。全体カンファレンスでも時間配分を考え、今後の支援の方法について共有していきたいと思えます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		レッスン報告書のフォーマットを用意し、スタッフ同士でぶれることがないようにしています。またこのフォーマットは子どもの成長に合わせて少しずつ変更をしています。	今後も誰が引きついても支援できるよう詳細に記録していきます。またこれを活用し、支援の検証・改善策を具体的に考え、実施につなげていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要性があると判断した場合は見直しをしています。	今後も必要に応じて見直しをしていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、合わせて支援を行っている	○			地域交流に関しては現在はありませんが、個別レッスンにおいて個人のリソースを活かす術やコミュニケーション力をあげるなどの後方支援的な活動は行っています。今後、この点についてもっとどのような工夫が出来るか、検討していく所存です。

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参画している	現在は必ずしもそうでないことがありますので、今後はできるだけ、指導員および児発管の2人体制で参画できるような体制づくりにしていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		現段階では特にしていませんが、今後は年間計画・行事予定等の情報共有をしていこうと考えています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	主治医がいる場合は、保護者の方より必ずお話を聞き、スタッフ間で共有しています。	医療的ケアが必要なお子さんが来られた時は、もちろん連絡体制をとっていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		これまでは特にそのようなことはありませんでしたが、今後は必要に応じて情報共有をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		現在対象者はおりませんが、今後対象となるお子さんが出てきた場合は連携をしていく予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて連携しています。	今後はさらに情報の獲得に力を入れ、助言等連携を組んでいきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		特に今は考えておりませんが、今後は見学等をしていこうと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		特に今は考えていませんが、前向きに検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			今後も面談時だけでなく、送迎の機会を利用し、状況や課題のみならず、得意なこと、リソース等についての情報共有をしていきます。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	△		個別にて実施する場合があります。必要な場合心理的サポートやリファールをしています。	定期的にペアレント・トレーニングは実施していきたいと考えています。その全段階として、保護者会(親の会)の開催を計画しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に時間を頂戴し、説明しています。	今後も資料とともにいねいかつ簡潔に分かりやすい説明をしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時、送迎時にできるだけ具体的にお話をするよう心がけて対応しています。	今後も具体的な助言と支援をしていきます。そのためにも連携先を増やしていこうと考えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		これまでは開催していませんが、これからは定期的(月に1回ぐらいのペースで)に開催していきたいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情対応にはできるだけ迅速に対応しています。	引続き体制をとっていきます。苦情になる手前で広く意見を言える人づくり環境づくりをしてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		これまでは手つかずでしたが、今後は発行していこうと考えています。最初は不定期になるかと思いますが、徐々に定期発行にしていく予定で考えています。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵つき棚への保管をしています。ファイルケースに関しては氏名が特定されにくいように模様紙上に記載しています。	個人ファイルにつきましては、鍵つきの棚に入れ管理をしています。今後も取扱いには十分注意していきます。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<p>レッスン時、声かけはもちろんのこと、子どもの存在、できたこと等の承認することを大切にしています。</p> <p>保護者の皆さんとは、連絡帳、送迎時、面談時などを通して意思の疎通や情報伝達をしています。</p>	<p>今後も配慮ある言葉かけをしていくとともに、1つひとつの言葉や声に意識的にしていこうと思います。</p>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		<p>今のところ特に考えてはいませんが、今後講演会や親の会などを通して地域と共に共生していきたいと考えています。</p>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			危機管理等のマニュアルは策定しており、訓練は事業所にて1年に1回、入居マンションの訓練参加を1年に1回しています。さらなる簡略化したマニュアルを今後皆さんに配布していく予定です。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			上記のとおり1年に1回しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会議での情報共有	会議、カンファレンス、社内研修にて虐待防止について意見交換をしています。また防犯カメラを設置し、さかのぼって確認できるようにしています。今後も気を抜くことなく取り組んでいきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		小さいなことで情報共有 防犯カメラの設置	やむを得ない身体拘束については、事業内で共有しています。契約時のご説明の他、レッスン時に拘束することがあった場合、すみやかに保護者の方にご説明をし、必要ならば防犯カメラの録画を見ていただくようにしています。これまでは支援計画書ではなく、重要事項説明書に記載しているのみです。今後は支援計画書にも記載し、十分にご説明をしていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		食事することがないので、特に対応はしていません。アセスメントの際、確認させていただいています。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルに準備しています。定期会議にて情報を共有しています。	小さなことにも敏感に対処できるよう、スタッフ同士で声をかけあっています。	

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense 保護者等数(児童数) 34 回収数 21 割合 61.8 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	18	3	0	0	もう少し広い部屋でのレッスンを望む	・お子さんの状況と部屋の大きさを考え、できるだけ固定しないよう努めていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	20	1	0	0	・よく子どものことを理解してくれていると思う ・個別にその子の特性に合わせていい指導である ・職員の方の資格がわかりにくい	・今後もいいいでわかりやすい指導をしていきます。 ・職員の資格については、今後名札等を工夫していきたいと考えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	20	1	0	0	子どもに合わせて、使わないものなど見えなくしてほしい	・スタッフ同士情報を共有し、気をつけて対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19	2	0	0	子どもに合わせて空間にしてくれている先生とそうでない先生がいる	・スタッフ同士で情報共有を徹底し、お子さんの状況やその時のように合わせ、出来るだけお子さんに合わせた空間づくりをしています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	20	1	0	0		・実際のお子さんの様子、保護者の皆さんのお話、アセスメントなど、あらゆる角度から分析し、支援計画を作成していきます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	19	0	0	2		・今後若干の改良を行い、より分かりやすい計画書にしていく予定です。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21		0	0		・週1回のカンファレンスを通し、計画的に確認と見直しを行っています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	21	0	0	0	子どもの意見を尊重してプログラムの変更などしてもらいながら、1回のレッスンを楽しく受けている	・ありがとうございます。今後も形骸化しないよう、その子のその時間を生きたレッスンとなるよう努めていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	9	6	・個人レッスンなので、交流の機会があったかわからない ・目的を持って個別レッスンに来ているので、特に問題なし	・特にそのような交流機会は設けていません。しかしながら今後ご要望がありましたら、検討していく所存です。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	21	0		0		・今後もいいいかつわかりやすい、簡潔な説明をしていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	18	1	0	2	懇談というかたちでしっかりと話をさせてもらっているため問題はない	・ありがとうございます。今後も懇談時にしっかり対応していきます。
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	16	1	2	2		・現在特に勉強会を開催していませんが、必要に応じて個別で対応させていただいております。今後定期的に開催できるよう前向きに検討していきます。	



	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達、状況、課題について共通理解ができているか	20	1	0	0	レッスン内容を文面と口頭で伝えてもらっている	・レッスン終了後に取り組んだことを口頭と連絡帳でお伝えしていきます。また面談時に時間をかけ理解に努めております。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	2	0	1		・今後も定期的に面談時間を確保し、具体的な支援等の助言をしていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	7	5	7	保護者会はないと思う 個別なので他の方とお話する機会はまだない	・今後は保護者会を開催していく予定です。掲示物や会報誌、ホームページにてお知らせしていきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	17	2	0	2		・出来るだけ迅速に対応させていただいております。相談対応についての体制等も周知徹底していく所存です。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	20	1	0	0		・送迎時の口頭でのやり取りと連絡帳を活用しています。特にお子さんのお話の場合は、面談時にゆっくりとお話をするよう心がけております。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	7	6	1	7	ホームページで公表されていたように思うが、はっきり覚えていない	・あまり積極的に広報活動はしてきませんでした。今後はホームページや会報誌、掲示物などを利用して積極的に実施していきたいと考えています。 ・自己評価の結果につきましては、リンク先にて公表していましたが、これからは自事業所での掲示とのホームページにて公表していきます。
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	20	0	0	1		・個人ファイル等は鍵付き棚に保管しています。また引き出しの氏名記載は模様紙上に記載し、分かりにくくしています。	
非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	3	1	3	14	・改めての説明はなかったと思うが、子と両親をちゃんと認識してもらっているのも、そういう意味では安心している ・週1回の来所なので、その時に訓練があたることがないかと思う ・マニュアルはあると思うが、実際に訓練に参加したことがないのでわからない	・訓練は年に1回しています。消防の点検は年に6回しています。 ・各マニュアルを策定し、ファイリングしていますが、若干の見直しをしていく予定です。改訂版ができ次第、保護者の皆さまにご説明および配布していく予定です。 ・訓練時にレッスンが当たった場合は、お手数ですがご協力をお願いします。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	1	4	15	・定期的に訓練はしていると思うが、参加したことがないのでよくわからない	・訓練は年に1回しています。消防の点検は年に6回しています。 ・訓練時にレッスンが当たった場合は、お手数ですがご協力をお願いします。 ・感染症対応につきましては、定期的に確認をし、予防に関しては日々の清掃時にも実施しています。
22 子どもは通所を楽しみにしている	21	0	0	0	・とても楽しみにしている ・とても楽しいと言っている	・ありがとうございます。 ・今後も楽しく通ってもらえるよう努力してまいります。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足 度	23 事業所の支援に満足している	21	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の子どもがしたいことも取り込んでレッスンをしてもらっているのがありがたい。</li> <li>・楽しく通うことだできてとても満足している。</li> <li>・いつもありがとうございます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。</li> <li>・今後も真摯に、ていねいに支援してまいります。</li> </ul>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 7th Sense

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の大きさに違いをもたせ、支援内容や状況に応じて選択しています。	部屋の固定化がおきないように、定期的に見直していきます。
	2	職員の配置数は適切である	○			現段階としては適切であると思うが、より効果的な支援を行うためにも今後も配置について考えていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		段差がまったくない状態にしている	今後も配慮に努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		お子さんにより、教材の置き方(目隠しなど)を工夫しています。	今後も日々の清掃はもちろんであるが、抗菌等の配慮をしていきます。またレッスンに楽しくとりくめるよう(注意が散漫にならないよう)、部屋(空間)づくりをしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		1週間に1回の会議	週に1回の会議(カンファレンス)にて、スタッフ全員で見直しをして共有していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	△			今回の実施していただいた意見を参考に改善していく予定です。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		昨年度はリンク先(リタリコ)にて公表していました	事業所内に掲示をしています。また今年度に関しては会報にも掲載配布していく予定です。HPについても現在、準備中です。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後の要件等事項です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修費の補助 外部で開催される研修等は可能な限りスタッフ同士共有し、成果についても共有している	内部研修を定期的実施し、外部機関研修についても広報や費用の負担も実施しています。今後も、研修で学んだことをスタッフ間で共有し、向上していく所存です。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		新版K式やwisc検査を実施していたものがあるので、アセスメントには力を入れています。	提供いただいた資料や保護者の皆さんとの送迎時の対話、面談時とお話をもとに分析し、具体的な支援計画を作成していきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	△			アセスメントツールはありますが、標準化されておりません。しかしながら、データを積み上げ信頼性と妥当性を高めていき、役立てていけるよう努めてまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			現在は同じ欄への記載となっています。現在適切な項目ごとになるよう作成をし直しをしていますので、今後再度立て直していきます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いたします。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		週1回の会議(カンファレンス)にて見直しをしています。	今後も多角的に検証し、計画に沿った支援が実施されているか確認をしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		週1回の会議(カンファレンス)や、空き時間を利用し、主となる指導員を中心にスタッフで話し、プログラムを作成しています。	週1回の会議(カンファレンス)や、空き時間を利用し、主となる指導員を中心にスタッフで話し、プログラムを作成しています。今後はさらに効果的なプログラムを作成できるよう、時間等の使い方を考えていきます。また系統だったプログラムができるよう、研修等に力を入れていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは骨格が崩れなければ、各指導員の先生方の持ち味も入れ、固定化しないよう工夫しています。また個別レッスンなので、子どもの様子を見ながら随時変更をするなどの工夫もしています。プログラムは骨格が崩れなければ、各指導員の先生方の持ち味も入れ、固定化しないよう工夫しています。	今後も個別レッスンの特性を活かし、子どもの様子を見ながら随時工夫するようになっていくよう努めます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	—	—		個別レッスンのため、集団活動は幼稚園・保育園等でお願ひしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		準備段階で、子どもさんについての情報交換をしています。特に気をつけることがある時は、綿密に打ち合わせをしています。	個別なので、担当する指導員の先生との打ち合わせとなる
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		レッスン終了後、報告書の提出時に、レッスン時の様子、気になることなどの共有は必ずしています	レッスン報告書への記載とともに、口頭での共有もしている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		レッスン報告書のフォーマットを用意し、スタッフ同士でぶれることがないようにしています。またこのフォーマットは子どもの成長に合わせて少しずつ変更をしています。	レッスン後はレッスン報告書の記載をしている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		必要性があると判断した場合は見直しをしています。	保護者とともに確認し合い、判断している
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が参画している	現在は必ずしもそうでないことがありますので、今後はできるだけ、指導員および児発管の2人体制で参画できるような体制づくりをしていきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて実施	今後円滑な支援が出来るよう、積極的に関係機関と連携していくよう努めます。そのためにも交流会等にも可能な限り参加しようと考えています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			現時点では対象者はなし	今後必要性も出てくると思いますので、準備をしていきたいと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援としては情報共有をしたことはありませんが、支援していくにあたり、必要に応じて情報交換、共有をしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	必要に応じて連携しています。	今後はさらに情報の獲得に力を入れ、助言等連携を組んでいきたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		特に今は考えておりませんが、今後は見学等をしていこうと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		特に今は考えておりませんが、前向きに検討していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			今後も面談時だけでなく、送迎の機会を利用し、状況や課題のみならず、得意なこと、リソース等についての情報共有をしていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	△			現在は実施していないが、今後実施していく予定である
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			定期的にペアレント・トレーニングは実施していきたいと考えています。その全段階として、保護者会(親の会)の開催を計画しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			具体的にご説明し、保護者の疑問、要望により作成し直し、再度提示するなどの対応もさせていただいていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		1～3か月に1回は30～50分の時間を確保し、面談を実施している。その際に専門的な心理療法をする場合もある。	今後も迅速に的確に助言や支援、またリファーをしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		これまでは開催していませんが、これからは定期的(月に1回ぐらいのペースで)に開催していきたいと考えています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		他の約束がない限りその場で時間を確保し、対応をさせていただいています。	今後、相談や申し入れをしやすいよう工夫をし、できるだけ速やかな対応をしていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		これまでは手つかずでしたが、今後は発行していこうと考えています。最初は不定期になるかと思いますが、徐々に定期発行にしていこうと考えています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵つき棚への保管をしています。ファイルケースに関しては氏名が特定されにくいように模様紙上に記載しています。	個人ファイルにつきましては、鍵つきの棚に入れ管理をしています。今後も取扱いには十分注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		レッスン時、声かけはもちろんのこと、子どもの存在、できたこと等の承認することを大切にしています。保護者の皆さんとは、連絡帳、送迎時、面談時などを通して意思の疎通や情報伝達をしていま	今後も配慮ある言葉かけをしていくとともに、1つひとつの言葉や声、語尾、イントネーション等、意識的にしていこうと思います。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今のところ特に考えてはませんが、今後講演会や親の会などを通して地域と共に共生していきたいと考えています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			危機管理等のマニュアルは策定しており、訓練は事業所にて1年に1回、入居マンションの訓練参加を1年に1回しています。さらなる簡略化したマニュアルを今後皆さんに配布していく予定です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			上記のとおり1年に1回実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		主治医がいる場合は、保護者の方より必ずお話を聞き、スタッフ間で共有しています。	今後も詳細に確認しています。通院による医師の指示や説明、また服薬については、できるだけぎりぎりを置かず状況を確認するようにしていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		食事することがないので、特に対応はしていません。アセスメントの際、確認させていただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイルに準備しています。定期会議にて情報を共有しています。	小さなことにも敏感に対処できるよう、スタッフ同士で声をかけあっています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会議での情報共有	会議、カンファレンス、社内研修にて虐待防止について意見交換をしています。 また防犯カメラを設置し、さかのぼって確認できるようにしています。 今後も気を抜くことなく取り組んでいきます。
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	△		ささいなことでも情報共有 防犯カメラの設置	やむを得ない身体拘束については、事業内で共有しています。 契約時でのご説明の他、レッスン時に拘束することがあった場合、すみやかに保護者の方にご説明をし、必要ならば防犯カメラの録画を見ていただくようにしています。 これまでは支援計画書ではなく、重要事項説明書に記載しているのみです。今後は支援計画書にも記載し、十分にご説明をしていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。